

「キッズニア福岡」施設の特徴および出展企業を公表

～「キッズニア福岡」公式 Twitter も本日開設～

こどもの職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営を行う KCJ GROUP 株式会社（本店：東京都千代田区、代表取締役社長：圓谷 道成、以下 KCJ GROUP）は、2022年7月31日（日）に開業予定の「キッズニア福岡」（福岡県福岡市博多区、「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」内）に、パビリオンやサービスなどの提供を本日時点で決定している企業・団体について、別紙のとおりお知らせします。



街並み（イメージ）



「火災現場」付近（イメージ） (C) KidZania

国内では13年ぶりの開業であり、九州初となる「キッズニア福岡」は、既存の「キッズニア東京」（東京都江東区）や「キッズニア甲子園」（兵庫県西宮市）と同じく、飛行機の離発着がなされる「空港」を表現した入場ゲートが目印です。空港の先には、約2/3サイズで現実社会を表現したおよそ2,000坪（6,600平米）の「こどもが主役の街」が広がり、3歳から15歳のこども達は、約60のパビリオンで約100種類の仕事やサービスを体験できます。仕事体験後にはお給料として専用通貨「キッツ」が支給され、施設内での買い物やサービスに使えるほか、施設内の金融機関に「預金」も可能。楽しみながら社会のしくみを学べる「エデュテインメント」をコンセプトとしています。

また、これらのベーシックな「キッズニア」の仕組みや、従来からの知見を活かしたSDGsへの取り組みに加え、「キッズニア福岡」ならではの特徴として、DX（デジタルトランスフォーメーション）やエンジニアリングなどの体験を集積した「先端技術エリア」を設置します。

さらに、施設の中心に位置し多くの観客の前でパフォーマンスできる舞台「オープンシアター」や、3歳未満の乳幼児でも体験可能な「トドラーエリア」を新たに設けるほか、仕事体験後に支給される「キッツ」の「手渡し」か「口座振り込み」選択制の導入、デビットカード機能付きキャッシュカードの提供なども開始します。

KCJ GROUPでは、「キッズニア福岡」への出展企業・団体や地域の皆様との共創により、新しい「キッズニア」をつくりあげるとともに、次世代を担う地域のこども達の生きる力を育む体験機会の創出につとめてまいります。

なお、本日「キッズニア福岡」の公式 Twitter（@KidZania_F）を開設しました。「キッズニア東京」（@KidZania_T）や「キッズニア甲子園」（@KidZania_K）の公式 Twitter 同様に、地域や施設ならではのおすすめ情報、パビリオンやアクティビティ情報などをタイムリーに発信してまいります（※）。

※ 「キッズニア福岡」公式 Twitter https://twitter.com/KidZania_F

■ 「キッズニア福岡」 シティマップ (イメージ)



■ 「キッズニア福岡」 施設内イメージ、提供グッズ (例)



先端技術エリア (イメージ)



オープンシアター (イメージ)



キャッシュカード (イメージ)
(C) KidZania



トドラーエリアの例 (イメージ)



「キッツ」 (イメージ)



(C) KidZania